

佐野市景況レポート

令和3年1～3月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

景況感は二極化の様相、依然深刻な業況

【 令和3年1～3月期 実績 】

全業種業況 DI 指数は▲39.4、前期（12月期）比+1.1ポイントとほぼ横ばいです。業況判断 DI 指数は景況感が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」の割合を引いた値であり、指数▲39.4は約7割の企業が「悪い」と答える深刻な状態にあります。

利益 DI 指数▲43.1（前期比+3.5）、売上高 DI 指数▲42.4（前期比+0.3）と前年3月期を底に改善するもコロナ禍以前の業況指数には遠い状況です。仕入価格 DI 指数 19.3（前期比+10.4）、販売価格 DI 指数▲4.9（前期比+2.1）、在庫 DI 指数▲0.4（前期比▲0.4）、設備稼働 DI 指数▲14.6（前期比+2.1）と、前期に比べ仕入価格が大きく上昇し、販売価格、在庫及び設備稼働指数はほぼ横ばいで推移しています。

【 令和3年4～6月期 見通し 】

全業種業況 DI 指数は▲36.6（前期比+2.2）と、依然厳しい業況が続くと予想しています。売上高 DI 指数▲33.9（前期比+2.8）、仕入価格指数 14.8（前期比+8.5）、販売価格指数▲0.7（前期比+7.7）と、売上高 DI 指数はやや改善し、仕入・販売価格指数の大幅な上昇を予想し販売価格への転嫁が進むと予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントの特徴は、原料・仕入価格の上昇が多く記載されています。また、『仕事は前向き、気持ちは前向き』、『新しい商いに積極的に挑戦』、『主たる契約をやめ、新たに別の商売をする』などの積極的なコメントも頂戴しました。コロナ禍において企業進化の芽が感じられます。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和3年1～3月期)		見通し (令和3年4～6月期)	
業 況	▲39.4		▲36.6	
売 上 高	▲42.4		▲33.9	
販 売 価 格	▲4.9		▲0.7	
仕 入 価 格	19.3		14.8	
労 働 力	▲18.7		—	—

* 天気図の説明
(数字は DI 値)
・ 仕入価格、販売経費、在庫は DI 値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について (令和3年1~3月期実績)

天気図

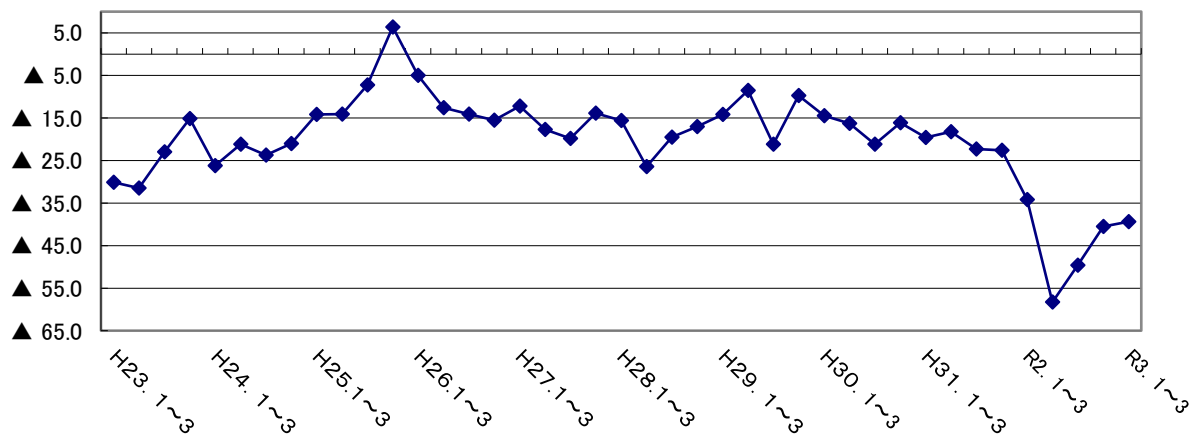


全業種 DI 指数▲39.4、前期比 1.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①建設業▲9.9 ポイント、②卸売業▲17.6 ポイント、③化学・プラ製造業▲22.0 ポイント、④機械・金属製造業▲28.1 ポイント、⑤繊維品製造業▲33.3 ポイント

良い
↑
悪い

業況(全体)



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について (令和3年1~3月期実績)

天気図

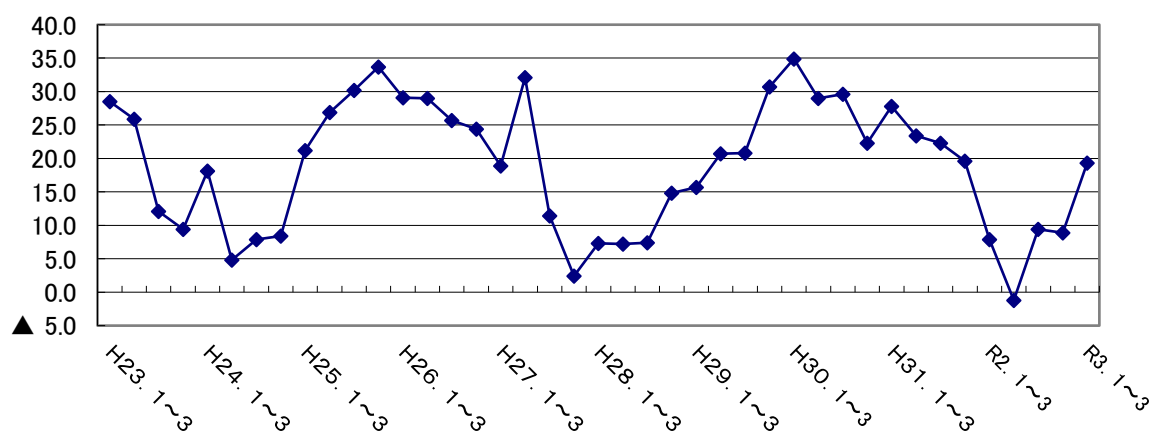


全業種 DI 指数 19.3、前期比 10.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

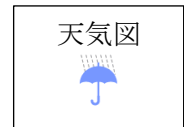
- ①卸売業 46.2 ポイント、②繊維品製造業 39.1 ポイント、③その他の製造業 27.3 ポイント、④化学・プラ製造業 24.7 ポイント、⑤食品製造業、その他の小売業(大型店含む) 20.0 ポイント

上昇
↑
下落

原材料仕入価格・仕入価格(全体)



☆ 売上高について（令和3年1～3月期実績）



全業種DI指数▲42.4、前期比0.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業 10.3ポイント、②卸売業▲11.5ポイント、③機械・金属製造業▲23.8ポイント、④化学・プラ製造業▲35.1ポイント、⑤繊維品製造業▲40.9ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和3年1～3月期実績）

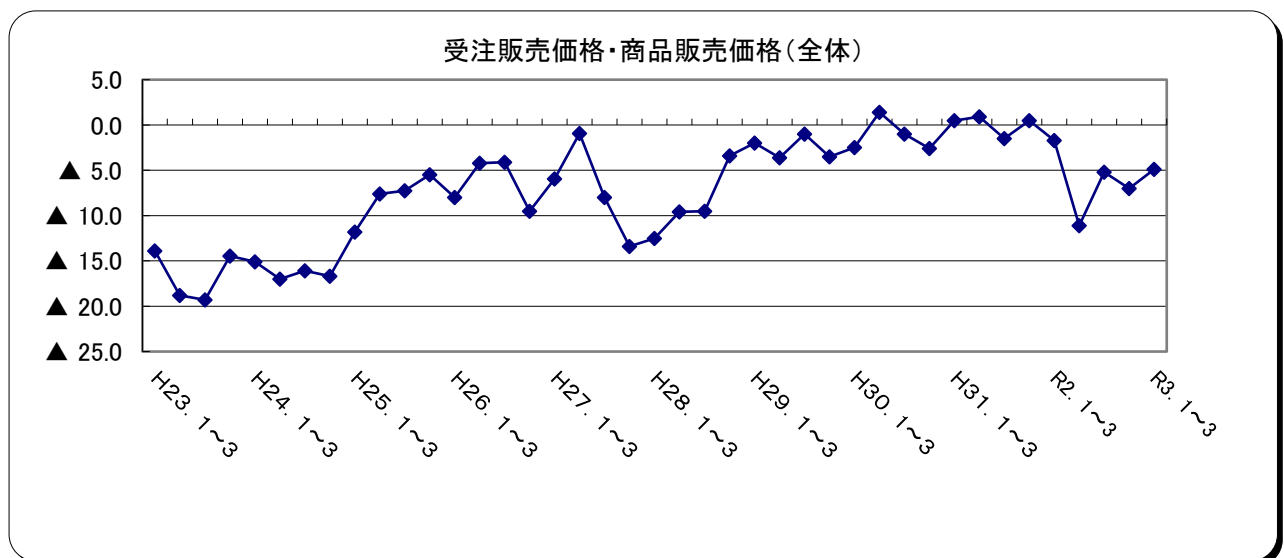


全業種DI指数▲4.9、前期比2.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 10.7ポイント、②その他の製造業 6.4ポイント、③食品製造業、小売業(飲・食料品)0.0ポイント、④化学・プラ製造業▲3.3ポイント、⑤飲食店▲4.1ポイント

上昇
↑
下落
↓



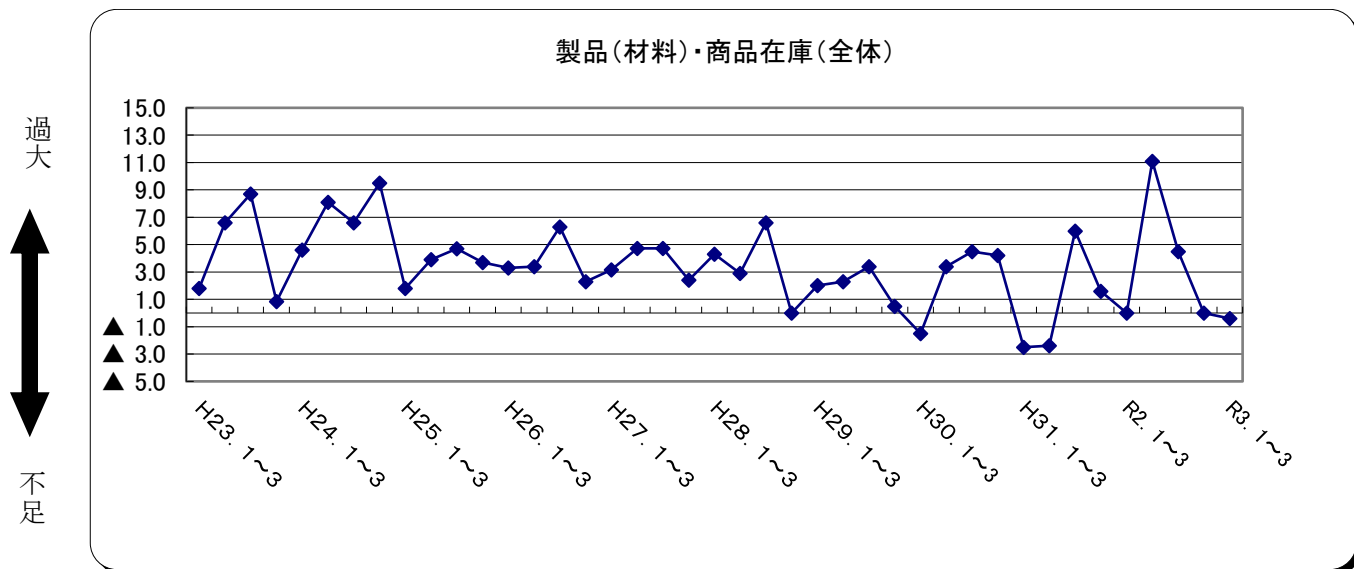
☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和3年1～3月期実績）



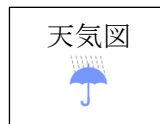
全業種 DI 指数▲0.4、前期比▲0.4 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラ製品製造業 14.3 ポイント、②機械・金属製造業 8.8 ポイント、③繊維品製造業 6.4 ポイント、④設備業、食品製造業、小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0 ポイント、⑤建設業▲3.0 ポイント



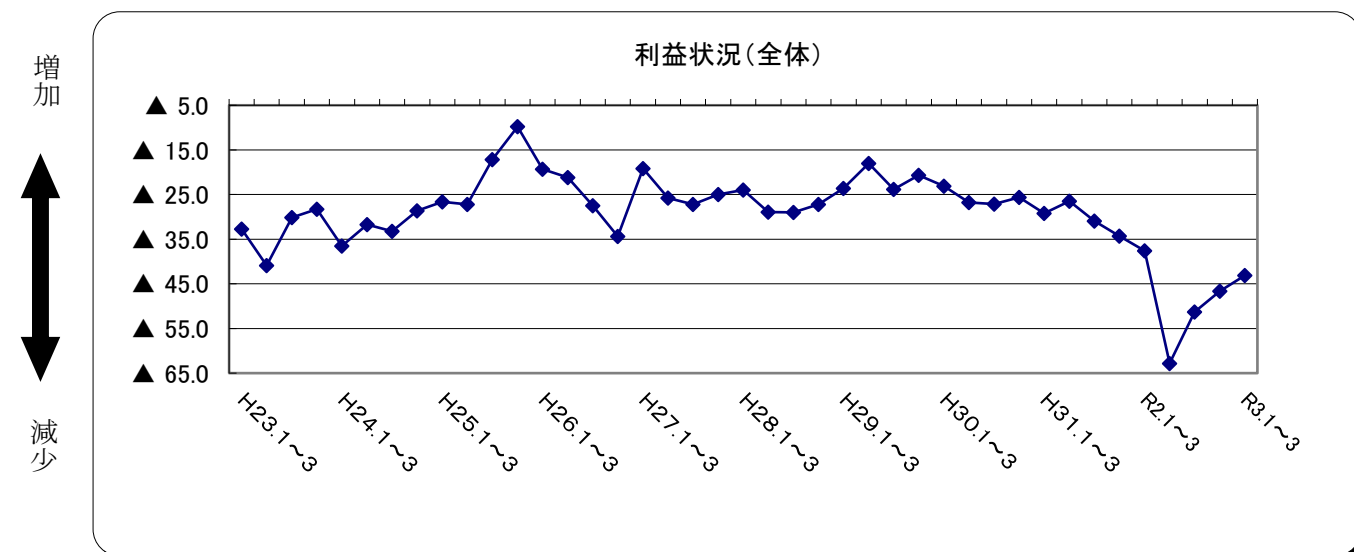
☆ 利益状況について（令和3年1～3月期実績）



全業種 DI 指数▲43.1、前期比 3.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業▲23.1 ポイント、②化学・プラ製造業▲25.3 ポイント、③その他の製造業▲27.3 ポイント、④卸売業▲28.3 ポイント、⑤機械・金属製造業▲38.7 ポイント



☆ 資金繰りについて (令和3年1~3月期実績)

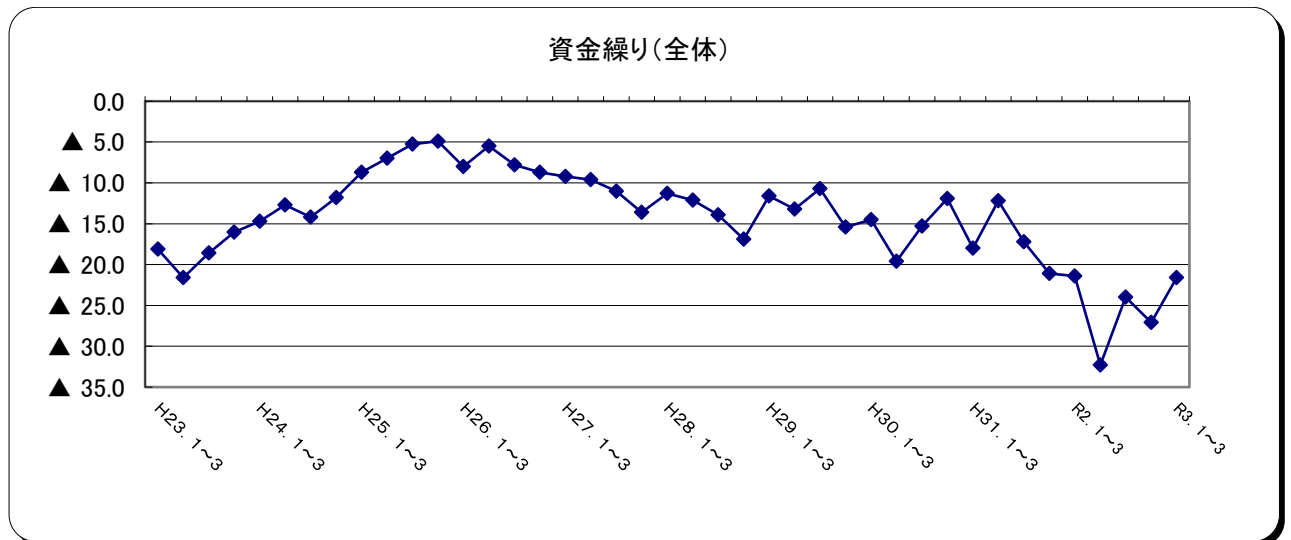


全業種 DI 指数▲21.6、前期比 5.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業▲8.8 ポイント、②卸売業▲11.1 ポイント、③建設業▲13.0 ポイント、④設備業▲13.6 ポイント、⑤化学・プラ製造業▲14.0 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和3年1~3月期実績)

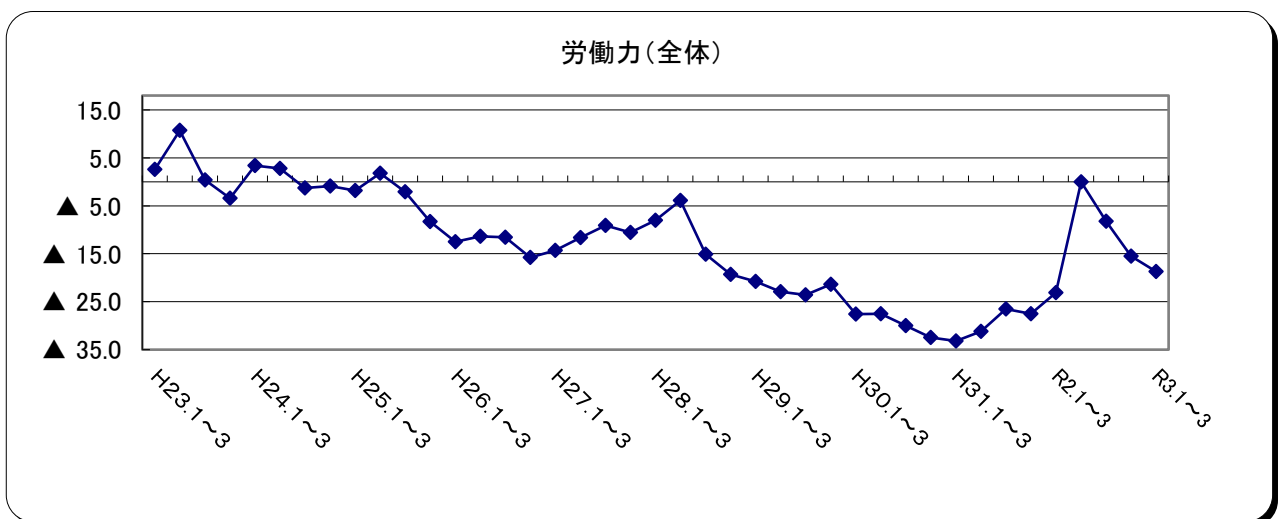


全業種 DI 指数▲18.7、前期比▲3.2 ポイント低下

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業 6.1 ポイント、②機械・金属製造業▲4.3 ポイント、③飲食店▲8.6 ポイント、④卸売業、小売業(飲・食料品)▲11.1 ポイント、⑤その他の製造業▲20.0 ポイント

過剰
↑
↓
不足



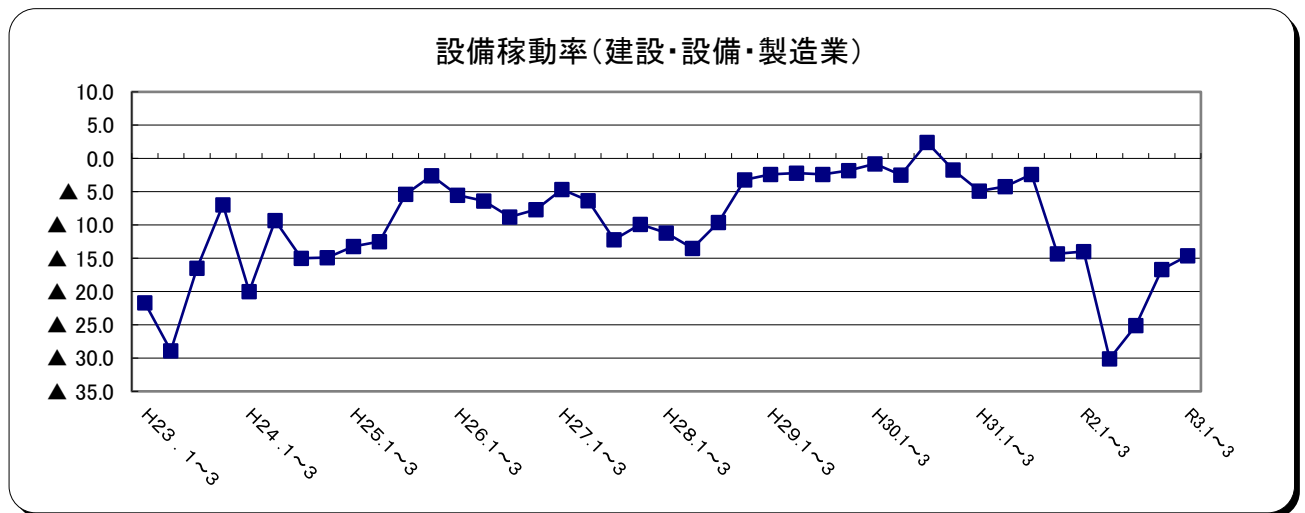
☆ 設備稼働率について (令和3年1~3月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数 ▲14.6、前期比 2.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①建設業 3.1 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業 ▲9.4 ポイント、④設備業 ▲13.6 ポイント、⑤食品製造業 ▲22.0 ポイント

高い
↑
低い



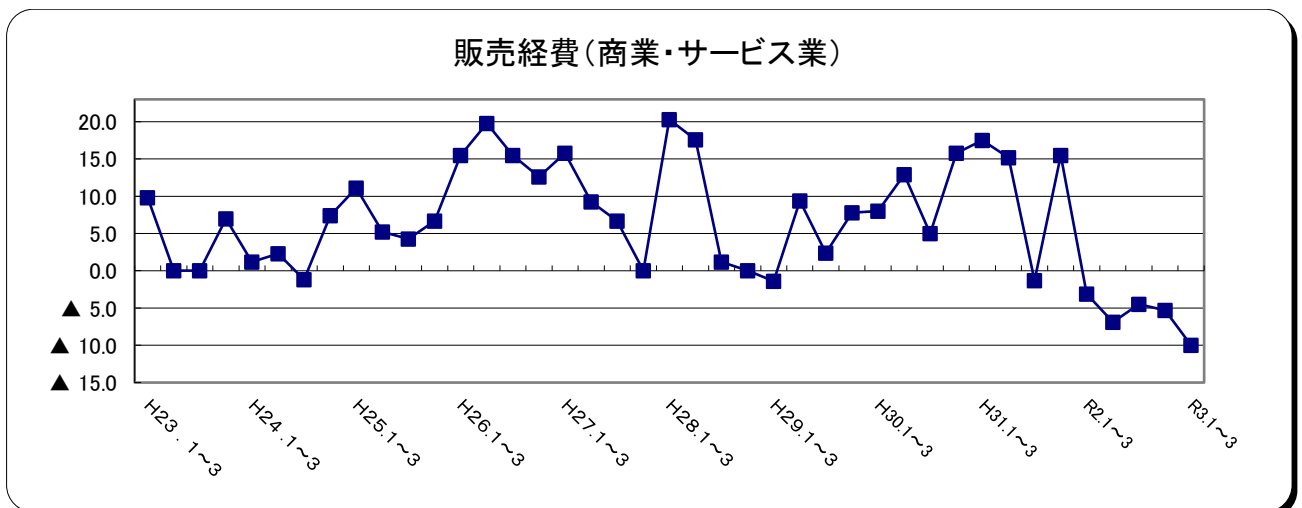
☆ 販売経費について (令和3年1~3月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 ▲10.0、前期比 ▲4.7 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 5.3 ポイント、②飲食店 ▲9.1 ポイント、③サービス業 ▲11.4 ポイント、④その他の小売業(大型店含む) ▲12.0 ポイント、⑤小売業(飲・食料品) ▲23.1 ポイント

増加
↑
減少



☆ 今後3ヶ月先（令和3年4～6月期の見通し）の業況について

天気図



全業種DI指数▲36.6、前期比2.2ポイント上昇

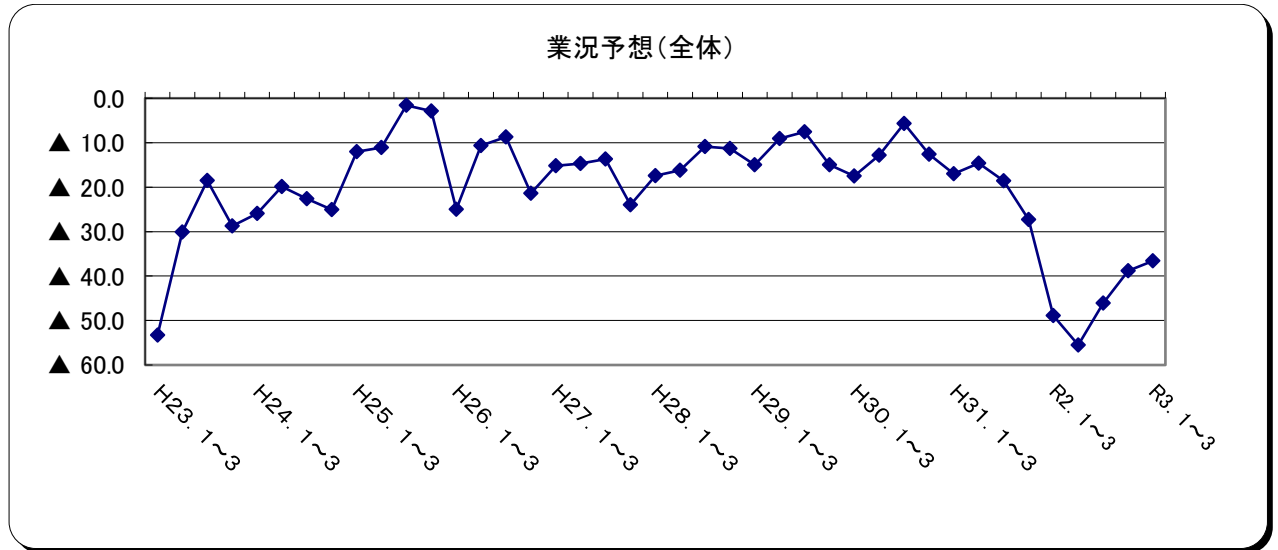
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲18.2ポイント、②建設業▲20.5ポイント、③その他の製造業▲20.9ポイント、④卸売業▲22.2ポイント、⑤設備業▲28.6ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和3年4～6月期の見通し）の売上高について

天気図



全業種DI指数▲33.9、前期比2.8ポイント上昇

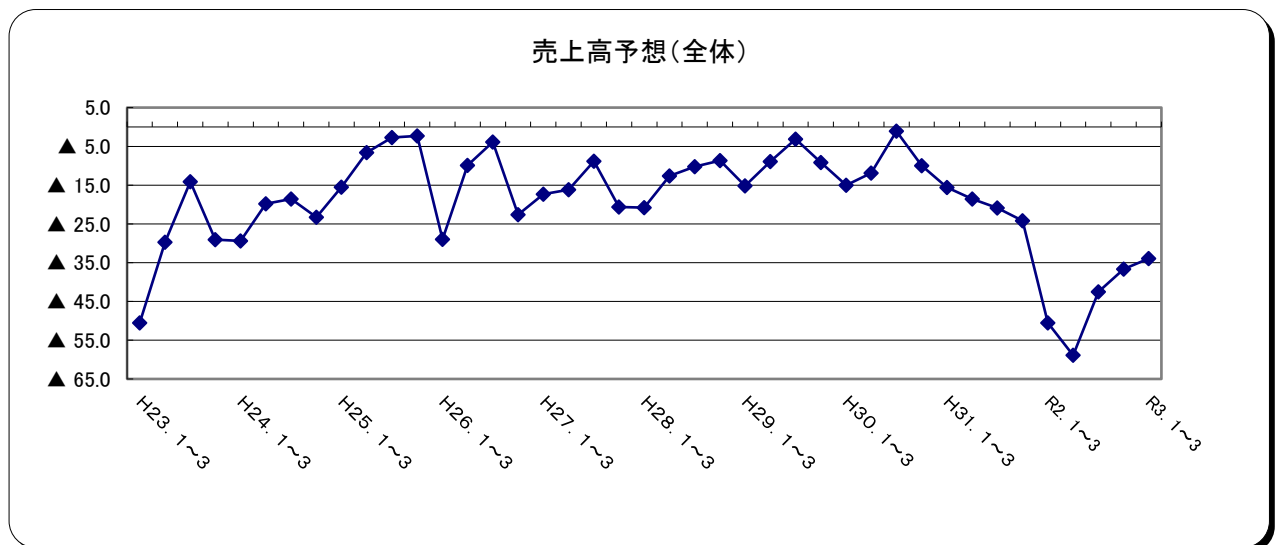
業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲9.1ポイント、②その他の製造業▲13.6ポイント、③建設業▲20.9ポイント、④卸売業▲22.2ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業▲23.1ポイント

良い



悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和3年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

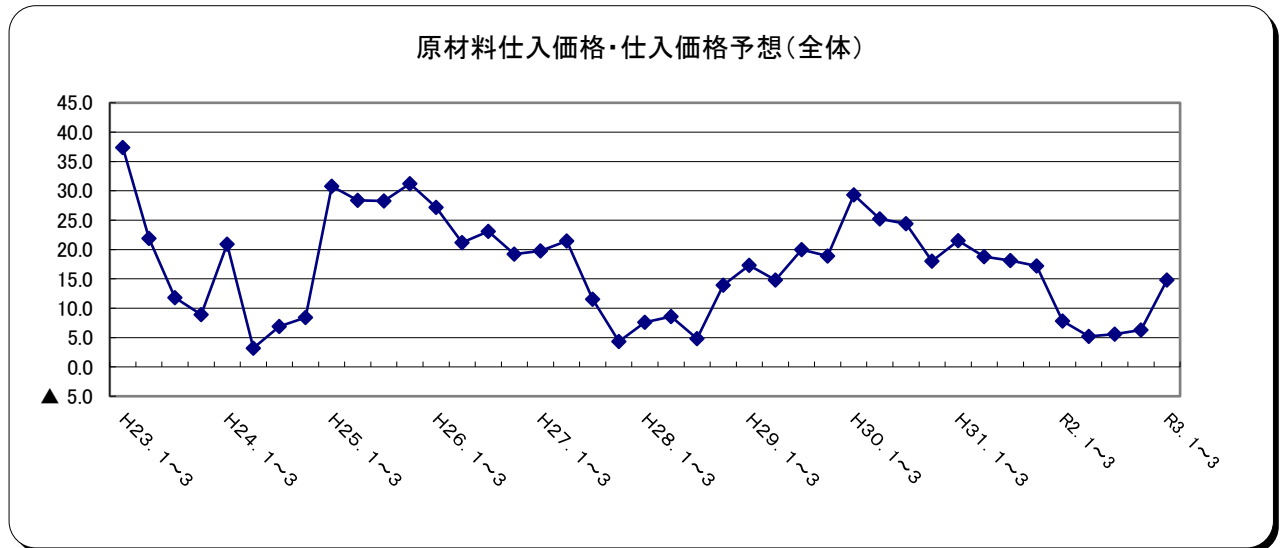


全業種 DI 指数 14.8、前期比 8.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①卸売業 52.9 ポイント、②繊維品製造業 39.1 ポイント、③飲食店 21.1 ポイント、④機械・金属製造業、化学・プラ製造業 17.6 ポイント、⑤設備業 13.0 ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和3年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

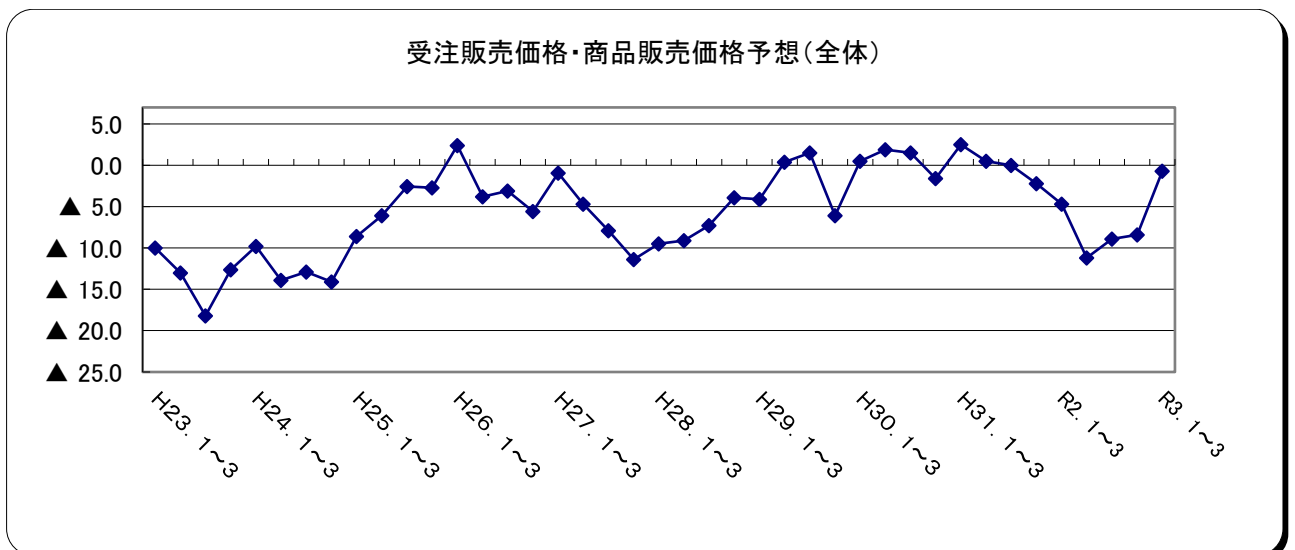


全業種 DI 指数▲0.7、前期比 7.7 ポイント上昇

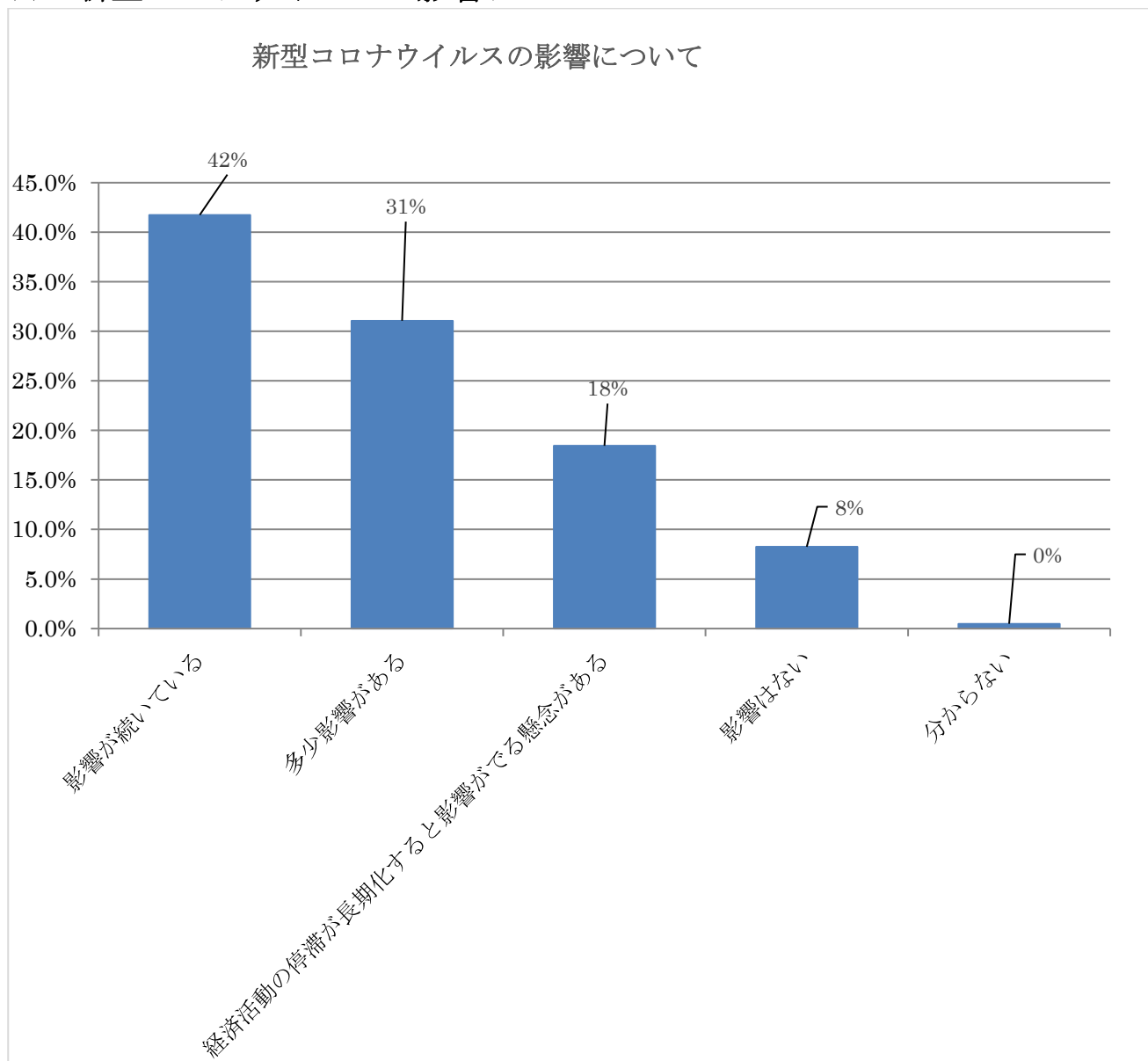
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 6.4 ポイント、②卸売業 5.1 ポイント、③機械・金属製造業 4.2 ポイント、④化学・プラ製造業 3.3 ポイント、⑤繊維品製造業、食品製造業、その他の小売業(大型店含む)、飲食店ポイント

上昇
↓
下落



☆ 新型コロナウイルスの影響について



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・4月から原料の値上げが決まっており厳しさが増す事も予想されますが、社内でのコスト削減も難しい状況。
- ・コロナウイルスの影響のためか現場の数が減少していて売り上げが少なくなっている。
- ・今後の景気が心配です。
- ・今後に期待し乗り越える事だけです。
- ・コロナ禍の影響がいつまで続くのか心配です。早く終息を願います。
- ・建設業はコロナの多少影響がある(顧客に影響がある)
- ・建築・建設業については、下落して受注が減少続きであるが山林部門は上昇傾向にあるので、山林関係のビジネスの間口を広げて行きたいと思う。
- ・景気が良くなるとは思えません。

設備工事業

- ・新築住宅の販売低迷で、ローコスト仕様住宅が増えている。結果、工事単価の見直しで下がってきている。

繊維品製造業

- ・当社は輸入して商品を納品しております。ここ1ヶ月輸入の経費が急上昇しており納品単価に転換できないので、困っております。
- ・全体的に悪い。仕入価格が上昇しているので、かなり厳しい状況です。

食品製造業

- ・先が見えない状況が続いています。販売先を拡大する為に多方面に声をかけています。実を結び花が咲くようになればいいのですが・・・。1月はここ20年の間で史上最悪の1月でした。来期こそはと思い前に進むしかありません。
- ・アフターコロナ、オリンピックにより外食やサービス業の景気が戻ると言われているが、コロナの恐怖心もあって急激に回復するとは考えにくい。昔に戻るのが良いとは思われないが経営の基準を手探りでさがしていくが数年になるだろう。向こう5年はガマンだ。
- ・期間社員を募集しても応募が少ない状況です。
- ・少しずつ新しい取り組みの芽は出始めています。今後ともよろしくお願い致します。
- ・原料の仕入れ量を少なくしているので、資金に余裕があります。

機械・金属製品製造業

- ・なかなかエンジンがかかりません。
- ・様々な部材が入りにくくなっている。
- ・赤字が続いています。
- ・輸出が増加。今のところ21台7台が輸出。今後インドネシアから1千台受注予定。
- ・台風19号による復興の中でコロナウイルスによる営業活動が出来ない二重苦になっている状況です。現状コロナ対策融資を使用しながら活動しております。
- ・仕事として忙しくもなく暇でもなく安定。
- ・幸いにもコロナ禍の影響はなく好調を維持している。

化学・プラスチック製品製造業

- ・36協定は守りたいが厳しすぎます。
- ・設備期末3~4月集中による忙しい感はあるが、先行きが不透明で心配です。
- ・見通しが悪い。
- ・ここの所良くなっていると思う。

- ・オリンピックのため先行生産が在庫になっています。
- ・ナフサの高騰の恐れ有りプラスチック原料の値上げや納期遅延が考えられます。
- ・製袋の仕事はネット通販系で使用される袋が増えましたが、大手百貨店等人の出入りが減り受注も減ったことを実感しました。
- ・商品アイテム顧客先によってバラツキがある。コロナの影響かと思う。全体としては影響が少ないと思う。オリンピックが行われるか否か、またその後不況になるのか不安だ。
- ・コロナ落ちついて良くなると思います。

その他製造業

- ・製袋の仕事はネット通販系で使用される袋が増えましたが、大手百貨店等人の出入りが減り受注も減ったことを実感しました。
- ・商品アイテム顧客先によってバラツキがある。コロナの影響かと思う。全体としては影響が少ないと思う。オリンピックが行われるか否か、またその後不況になるのか不安だ。
- ・コロナ落ちついて良くなると思います。

卸売業

- ・各種補助金でゾンビの様に(言い方悪いが)生きている企業がガソリン切れでそろそろ倒れていくのではと心配。
- ・業況については2月以降のことです。1月までは悪かったです。
- ・コロナの緊急事態で人の動きが止まってしまい、売上に影響しています。仕事は前向き、気持ちは前向き!!がんばります。

小売業（飲・食料品）

- ・夕方～夜間の売上が前年比減少。
- ・昨年12月今年1月2月3月は、売上増加になりましたが4月以降は、元の悪い状態に戻りそうです。
- ・悪い。
- ・まだ景気について回復していません。コロナの影響かなと思います。
- ・市役所の方から連絡があり、さとふるを導入することになりました。
- ・とにかく首都圏のコロナ解除。
- ・非常事態宣言が解除になっても、お客様の来客が戻らない。来客も少人数(2人)が多い。
- ・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか？

その他の小売業（大型店含む）

- ・昨年と比較すれば上昇機調ですが、コロナ禍前の一昨年のレベルには達していません。生活様式が変化しているので新しい商に積極的に挑戦してまいります。
- ・いやな世の中になって、この先不安になる。
- ・栃木県の自粛要請から人出が悪化、来店客の減少で売上が悪化。ワクチンの普及が早く進み人出が戻るまで経済活動が停滞して影響が心配です。
- ・かなり佐野の人々は注意して頑張っています。誰が悪いわけではない。コロナが悪化して変異型が流行してくるでしょう。いつまで続く不安感。
- ・在庫価格の上昇が激しい。海外から商品が渡って来るまでの日数が伸びてしまった。
- ・外出自粛により個人宅への小額での配達が増えてきている為、店を留守にすることが多くなり、仕事の量は増えているが時間をとられてしまい、なかなか収益につながらない。
- ・コロナの影響で主たる契約をやめたので、今後新たに別の商売をする。
- ・イベントや行事が減少した為に売上が少ない。
- ・早くコロナを終わらせてほしい。
- ・コロナ禍により外出する人が少ない為ガソリンの消費が減少している。車のハイブリッド使用が多く、月2回給油していた人が月1回です。

飲食店

- ・飲食店の時短協力金について不公平感が大きい。

- ・新型コロナウイルスによりまだまだ人が自粛モードである。日常(通常)に戻るまでには時間がかかりそうだ。
- ・店での宴会等は減少しているが、企業向けの仕出しが少しではあるが回復の兆しがみえる。
- ・令和3年になって売上減少が大きい(40%以上減少)
- ・ワクチンに期待大!!市民生活の自由と経済活況を早く取り戻そう!!
- ・飲食店に関しては厳しい状況が続いており長期化する事によって維持継続が難しくなる。
- ・持続化補助金の感染防止対策費とは具体的にどういうことか知りたい。
- ・1月中旬より2月中旬まで営業を休止していたので、3~6月期は良くなることを祈るばかりです。
- ・売上げの減少(前々年比)
- ・宣言解除後少しずつお客様も戻りつつありますが、客足の振り幅が激しく欠品などによる早じまいと、廃棄ロスとどちらも増加しています。
- ・先が読めなく不安しかありません。
- ・コロナウイルスの影響がいつまで続くか(宴会がいつまでできないのか)気になります。
- ・イベントがないので苦しいです。
- ・借入だけが段々増えて来て返済ができるかどうか不安になって来た。

サービス業

- ・行事がなくなってきたので仕事に影響している。
- ・建築計画の相談は多いが計画のみで進まない案件が多い。
- ・コロナによる不況、悪影響は業種により大きな差が目立っていると感じるが、不動産業に関していえば影響が少なく一部のコロナバブルにより生まれているニーズに応えることでの機会も生まれています。
- ・GoToが復活すれば、又少しは景気が良くなるのではないか。
- ・自粛期間が長く物流の動きが良くない。いつまで続くのか不安が有る。
- ・台風19号型持続化補助金で、事業実施直後に新型コロナウイルス感染拡大の影響を直接受け事業の効果が出なかった。コロナの影響は今後も続くと思われ新事業への取り組みは必須。
- ・サブスクリプションサービスの利用者が増えているように感じます。
- ・ご来店いただくお客様の中にはコロナの影響を受けて大変な方もいらっしゃいますが、うちは商工会議所のその都度的確なアドバイスのおかげで順調に仕事を続けられています。
- ・業界がコロナの影響を大きく受けているので仕方ないと思う反面、飲食・観光に支援が偏っていて残念に感じています。
- ・3月からは前年対比でコロナの影響による売上減少が無くなる(対比100%)と考えていたが、まだ下がると考えられます。2年前3月→昨年3月-20%→今年3月-20%
- ・観光・行事がなくなりスナップ写真がありません。
- ・2021年1~3月昨対は越えて良い状況だが、2020年10~12月と比較すると売上・利益ともに減少。
- ・コロナ以前に比べて売上げは下がっています。景気は良くないと感じるので、より外に向けて発信をして行かないとならない時期と感じています。(売り上げ減少とはコロナ前というのであっていますか?昨年よりは良いのかなと思います。)
- ・1、2月は当社にとって繁忙期である為、単価こそ下げ底だったが仕事はあった。資金は秋口に銀行より大口の借入れをしたので回している。これからが大変厳しい季節となるので大変不安。
- ・コロナウイルスで利用者(高齢者)が外出を避けている=売り上げ減少となっていて一日も早くコロナのワクチンが出回ることを願っています。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和3年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、206社（回答率71.0%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	12社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	13社
② 食品製造業	12社
③ 機械・金属製品製造業	18社
④ 化学・プラスチック製品製造業	23社
⑤ その他の製造業	12社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	14社
③ その他の小売業（大型店含む）	21社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問い合わせ 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所